

第28号

平成24年1月1日

発行 (福)神聖会 菊華園

住所 〒270-1416

千葉県白井市

神々廻1030

電話 047-492-8111

FAX 047-492-8330

ホームページアドレス

<http://www.kikaen.or.jp>

菊華園通信



皆さんに支えられた15周年

祝 敬老

石橋理事長による
まぐろの解体ショー



三月に発生した東日本大震災は、多くの人々に甚大な被害をもたらしましたが、

一方で復興を遂げるためには希望を失わず努力を続ける多くの被災者の姿は、全世界から賞賛され私たち日本の建物に甚大な被害を被りましたが、補修工事も終了

しました。神聖会も夢の庄の勇気と誇りを呼び覚ました。震災は、神聖会も夢の庄の建物に甚大な被害を被りましたが、補修工事も終了し、十二月一日無事再開になりました。これも一重に関係各位のご支援・ご協力の賜物と役職員一同心より感謝申し上げております。

本年は介護保険改定の年に当たり、財政難から介護保険料の引き上げと給付費の削減が予想されています。しかし今年は、私達神聖会にとって、復興に向けた希望の年としなければなりません。そのため全職員が務めて参る事をお誓いし、ご挨拶と致します。

平成二十四年元旦
理事長 石橋 忠夫

明けまして
おめでとう
ございます

祝 敬老

沸き上がる拍手に釘付けの先は 主役対決 祝者 vs まぐろ!?

食べ物パワー 恐るべし



典は終了しました。

今年の敬老会は創立十五周年を記念して、例年比べ時間を延長し、デイサービスを利用されている方もお招きしての開催となりました。

なんと言つても、今回のハイライトは表紙にもなつてしまつた、「まぐろの解体ショー」でした。まぐろが登場するや、「オオづ！」とこれまで聞いた

一旦、本日の主役？は下がつて貰い式典は表彰、アトラクションと続きます。

表彰は喜寿（77）から利用者で最高齢の百三歳の方まで白井市市長と理事長とで記念品を渡し、祝いのお言葉を頂戴しました。

滞りなく式も進み、今年は劇団「菊」はお休み、代わりに「職員からの手紙」と銘うち、入社から十五年間、現場を支えた介護職員たちによつて、今までの

事がない程の歓声が、確かに入居者の嗜好調査で多くの握りは必ずと言つて良いほどランクされる人気メニューですから当然です。瞬く間に解体が進み、見慣れた形になつた時には、皆様釘付け、自然と拍手が沸いていました。

式も終盤、厨房からも良い匂い。最後は恒例の「母への手紙」で涙を誘い、式

歴史を振り返つてもらいました。

勿論、お寿司コーナー。入居者のリクエストも当然「まぐろ」いつもなら、食べたらお部屋に戻つてしまわれる方も今日は居残り、また不思議なことに、普段は食が細い方もこの日ばかりは大丈夫？と思えるぐらいの食欲でした。

「まぐろパワー 恐るべし。」これだけ喜ばれて頂けるなら理事長、来年もよろしくお願ひします。



いつまでもお元気で!!



東海林千春

山崎操夫

デイサービスで初めての敬老会の参加となりました。敬老会の参加でしたが、デイサービスの利用者達は変に緊張することなくノビノビと、敬老会を楽しんで式典では祝者の表彰がありました。デイサービスからは宇賀トシエさん・濱田フサさん・林寿子さん・山崎喜美江さん・田久保勝子さん・築城哲朗さんが表彰されました。

昼ごはんは絶品バイキング！にぎり寿司、豚の角煮、サラダなど聞いただけでもよだれダラダラなメニューばかりです。なかでもマグロの解

デイサービス初の敬老会 絶品バイキングに止まらぬ食欲



美味しそうに食べる高橋勲次郎さん（右）

体シヨーでさばいたばかりのマグロを使用したにぎり寿司は大人気であつと言いました。「おーい、もつとマグロを持ってきてくれよ。俺のお腹がグウグウ鳴いてるよ。」と利用者の高橋勲次郎さん。食事量が少ない方でも、この日はお構いなく美味しい料理を頂いていました。「君はどのぐらい食べれる？僕は若い頃は何キロも食べることが出来たよ。」と楽しそうに職員と話している利用者の築城哲朗さん。「チキン何番？チキンに番号なんてあるのか

い？初めて聞いたよ。ちょっと食べさせてよ。」と初めて食べる料理もあり、ご満悦な利用者達。ひと段落つき、ごちそうさま、かと思いや、フルーツの盛り合わせや、アイスクリーム、ケーキなどのデザートを食べ始めました。「もう食べれないよ。」とさつきまで言つていたはずなのに、デザートは別腹のようで、どんどんデザートを食べてきます。みんな大満足なお食事、いや、敬老会となりました。



我が広報委員長、田中健太介護職員と鈴木介護職員がめてたくゴールインされました。末永くお幸せに!!



傘寿 築城哲朗様



卒寿 宇賀トシ工様



米寿 山崎喜美江様



米寿 濱田フサ様



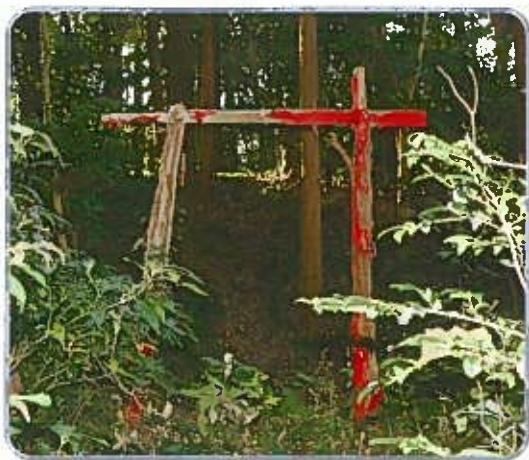
米寿 田久保勝子様



米寿 林 寿子様

白井に城があつた

膨大な歴史が眠る街



現在の小森城跡にある鳥居

「白井市に隣接する鎌ヶ谷市には佐津間城の跡がありますが、白井市には城はなかつたのですか。」このデイサービス職員、榎林さんの質問に利用者でガソリンスタンド油藤屋の元店主、秋本幸男さんが答えてくれました。「小森には昔、城があつたよ。今の白井の第二工業団地の辺りだよ。」

と思いもよらない答えが返つてきました。「白井には八用者に聞いた所、わかる人はいませんでした。利用者の約百名のうち、城の事を知つていたのはわずか三名で、城の存在 자체が疑わしいものとなりました。

十年以上住んでいるけど、そんなの聞いたこと無い。幸男さんは本当に本當かい。」とデイサービス随一の物知りで、呉服屋ハタヤの元店主、川上三雄さんが言いました。

川上三雄さん

秋本幸男さん



資料によると小森文化会館の

市に住んでいれば常識なのかと思い、他の利用者に聞いた所、わかる人はいませんでした。利用者の約百名のうち、城の事を知つていたのはわずか三名で、城の存在 자체が疑わしいものとなりました。

城は本当に存在していたようです。小森城跡の所在地は白井第二工業団地の付近にあり、戦国時代前後に使用されていたと推測されています。実は白井市には他にも四つの城があつたのではないかと言われています。

白井市にはまだ膨大な歴史が眠っていると思います。皆様も白井の歴史について調べてみてください。

小森城の想像図



白井市郷土資料館より

白井の地図



在支・居宅

「いつまでもお元気で!!」 私達が、手伝います

電話番号
047-
492-8113

在宅介護支援センター菊華園の紹介をします。担当職員は二名です。今回は、業務の一部を紹介します。

清戸にある福祉センターにて生きがい支援事業と在宅介護支援センター合同で「はつらつタイム」が行われています。「はつらつタイム」とは、白井市在住の高齢者が介護を必要としない様に、介護予防の一環として行われています。

今回の「はつらつタイム」では振込め詐欺を題材にした祖母と孫の劇が行われ注意を促したり、梨トレ体操や、bingo、血圧測定を行っています。

つて高齢者の方々の健康相談が行われています。皆様の交流の場にもなっている様です。

その他市役所から委託での実態調査と、医療保健福祉の相談が行われています。

高齢者のようす相談所として、何か困った事があればいつでも相談に応じてくれる様です。

そしてご利用者様の希望や心身の状態に合ったサービスが出来るようケアプランを提供してご本人様・ご家族様と介護サービス事業者との懸け橋の役割になります。



次に、菊華園居宅介護支援センターの紹介をします。担当職員は通称ケアマネジャーと呼ばれ、現在七名が勤務しています。

介護が必要になつた方々



菊地 麻子



近藤 ひさ枝



佐藤 麻里



岡本 正子



山田 知子



新藤 幸子



岡田 亜紗子



小田 恵子

岡本隊長率いる美女軍団??
直しくお願ひします

ケアハウス

体操クラブで健康増進!!

百歳を目指して

ケアハウスでは、毎週月曜日と木曜日に体操クラブを行っています。

今までには、機械を使って行つてきましたが、入居者様より、「毎日簡単に出来る体操を、皆で出来たら続けられるのに!!」と言う声から、新しく体操クラブが誕生しました。



エクササイズループバンド体操

皆、健康には感心があるのか参加者は七・八人とケアハウスにしては、大人数!! クラブが始まると各自席に座り、職員の声に合わせ軽い体操から始まり、次は

エクササイズループバンドを使つた体操。バンドを頭

これからもケアハウスで元気で生活できる

体操第二「梨トレ体操」とハードなメニューをこなし、最後は、麦茶を飲みながらリラックスタイム。入居者様より、リクエストがあつた唱歌を流しながら体を休ませました。

みんなの体操「みんなの体操」「ラジオ



みんなの体操



の上で引っ張つたり膝の所で縛り足を閉じたり開いたりと、結構力の入る体操後

は、テレビを観ながらの「みんなの体



白鳥みち子様
ケアハウス入居十年
おめでとうございます

いつまでもお元気で
お過しください



十一月二日、特養のケー
ス一班で、二日遅れのハロ
weenパーティーが行われ
ました。

会場に行くと、まずは皆
で仮装ごっこ。バンブキン
お化けの大井さんや、お化
け帽子も自分も笑顔の川鍋
さん。魔女つ子ナンバーワ
ンの安山さん。可愛いお化
けが大集合☆

パーティーを始めると、
皆でソワソワ、ニコニコ落
ち了。

パーティーを始めると、皆夢中で食
べ始めます。話し掛ける職
員には目もくれず、口の周
りにクリームをつけたりし
ながら、美味しいそうに食べ
ています。食べ終わって記
念にハイボールズ。



「イッヒッヒ。
甘いのくくなきや
イタズラしちゃうわよ

べ始める。職員には目もくれず、口の周
りにクリームをつけたりし
ながら、美味しいそうに食べ
ています。食べ終わって記
念にハイボールズ。

次はどんなお菓子が貰え
るか、それはまたのお樂し
み☆



ち着かない様子。その姿は
まるで、「TRICK OR TREAT!」(お菓
子をくくなきやイタズラし
ちゃうぞ!)と言つて、家
々を回る子供達のようです。
カメラを向けると、「イタ
ズラしちゃうわよ」という
不適な笑顔をしています。
中には、「お菓子をくくな
きや笑つてあげないわよ

ばかりに、そっぽを
向いてしまう人も
いる内におやつの時間。
今日のおやつは特別メニユ
ー！栗の入ったモンブラン
ケーキです。おやつが出て
切れず、ケーキのフィルム
を触り出す入居者たち。準
備が終ると、皆夢中で食
べ始めます。話し掛ける職
員には目もくれず、口の周
りにクリームをつけたりし
ながら、美味しいそうに食べ
ています。食べ終わって記
念にハイボールズ。

次はどんなお菓子が貰え
るか、それはまたのお樂し
み☆

次はどんなお菓子が貰え
るか、それはまたのお樂し
み☆



ユニット

昔の遊びで遊ぶ幼少時代

「若い頃はよく遊んだね」

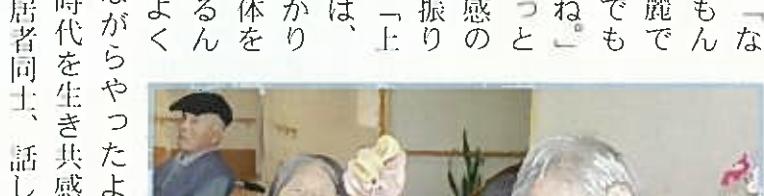
共感し合う入居者同士

ユニットではお昼ご飯を食べ、くつろぎの時間。「よつてらつしゃい・みてらつしゃい」と、何やら威勢のいい声が聞こえてきました。入居者は「何の騒ぎ?」と不思議そうな表情で集まっています。そこには大きな風呂敷を持った職員です。職員が大事

そうに持っているのを見て「風呂敷の中身はあれか?」と、親指と人差し指をくつ付け顔をにやつかせる入居者。風呂敷を広げると中にはけん玉やお手玉、紙風船、おはじき等、昔の遊び道具が沢山。「あらあ〜懐かしいわね」「今でもまだあるんだね。最近の子はこういうので遊ばないでしょ?」「若い頃はよく遊んだね」

すると、既に入居者の手元にはお手玉が。慣れた手付きでお手玉を回わし投げています。「背はもつと出来たけどな」「手が二つしかないのに三つも四つも回わす人いるけど信じられないわよね。」こちらは紙風船を入居者同士で落とさない様に手の平で宙に飛ばし合つ

が盛り上がっています。いつの間にか職員は蚊帳の外。入居者だけで楽しむ姿、遠くから見守る職員。普段あまり見ない貴重な光景の様です。



ています。「なかなか続くもんだけね」「綺麗で見るだけでも楽しいのよね。」



「どうぞ皆さん手にとつてみて下さい!」と職員が入居者に声を掛け

「家に行けばこんなのが沢山あるよ等、誰しもが一度は手にして遊んだ事のある玩具を目

の前に、すごく嬉しい表情を見せる入居者。

昔の遊びを通じて、入居者の方にそぞろ笑顔を見せる事が多いです。

り、それぞれが何かを感じている様に映りました。又、入居者同士の交流もみられました。この遊び道具が、入居者に与えた力はとても大きなこと

夢の庄 神様、お願い♪ 門松に想いを込めて

デイサービスセンター

門松はお正月に神様が降りてくるときの目印と知り、夢の庄デイサービスセンターではご利用者と力を合わせて門松を作りました。



心強い助っ人登場！

作り方は皆さんの中
にバツチリ入っているよう
で、仕事が早い！

大工をされていたご利用
者にもご協力を仰ぎ、さつ
そく開始♪竹をのこぎりで
切る姿はさすが職人技！
ついつい甘えて、全部お
願いしちゃいました♥



材料たち

門松を作つて、ぜひ夢の
庄にも神様にお越しいただ
きたい。昨年よりも良い年
にしたい。その想いで門松
作りに挑戦してみました。

以上必要でしたが、慣れた
手つきであつという間に出来
ました。
材料の松や竹は職員宅か
ら調達したので、なんと費
用は無料！田舎つて最高☆
竹に巻くしめ縄は、4m



今年こそ…



お手の物～♪

それでは神様、
よろしくお願ひします…。

私たち職員一同は、その
思いにこれからどう応えて
いけるのか？を真剣に考え、
話し合いました。

そこで、私たちに出来る
ことは、自分たちが自信を
持つて行っている日々の介
護方法を皆さんにお伝えす
ることだと考えました。

ご家族にはショートステ
イをご利用中は安心して休
んで頂きたいという気持ち
はもちろん、ご自宅での介
護を少しでも安心で楽に行
えるよう、お手伝いをして
いきたいと思っています。

我々にお任せを!!

0478-80-3262

担当：山口/伊藤

菊の里から Vol.28

これまで本当にたくさん
の方々に支えられ、励まさ
れ、そして期待されてここ
までやつてこられたということ
こと。そして、震災後のこ
のような状況でも変わらず
に応援して下さっていると
いうこと。

私たち職員一同は、その
思いにこれからどう応えて
いけるのか？を真剣に考え、
話し合いました。

そこで、私たちに出来る
ことは、自分たちが自信を
持つて行っている日々の介
護方法を皆さんにお伝えす
ることだと考えました。

ご家族にはショートステ
イをご利用中は安心して休
んで頂きたいという気持ち
はもちろん、ご自宅での介
護を少しでも安心で楽に行
えるよう、お手伝いをして
いきたいと思っています。

三月十一日の震災で、私
たちはとても多くのことに
気づかされました。

そのためには、私たち職
員がみなさんへの介護に対す
る不安や疑問にお答えして
いく機会を積極的に作つて
いこう！という意見でまと
まりました。

ご家族に向けた介護教室
を開催したり、ご希望があ
ればご自宅に伺い、ご本人
や環境に合わせた介護方法
もお伝えしたりとこれから
は感謝の気持ちをどんどん
形にしていくつもりです。

みなさん、なんなりとご
用命下さいね☆

**ショートステイ
サービス**